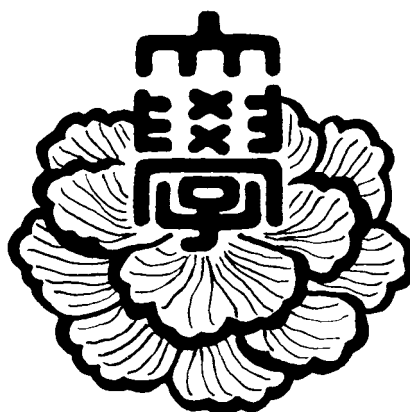


令和4（2022）年度

農学生命科学部 第3年次編入学
学生募集要項



■編入学試験日程表

募集人員	事項	日時
若干名	出願期間	令和3年7月5日(月)～7月9日(金)
	試験実施日時	令和3年8月24日(火)
	合格者発表	令和3年9月1日(水) 午前10時(予定)

弘前大学

HIROSAKI UNIVERSITY

目 次

令和4年度 農学生命科学部第3年次編入学学生募集要項

1. 募 集 人 員	1
2. 編入学の時期及び編入学年次	1
3. 出 願 手 続	1
(1) 出 願 資 格	1
(2) 出 願 期 間	1
(3) 出願書類等の提出先	1
(4) 出 願 書 類 等	2
4. 選 考 方 法 等	2
5. 合 格 者 の 発 表	3
6. その他の注意事項	3
7. 個人情報の取扱いについて	3
8. 農学生命科学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	4
9. 入 学 者 案 内	6
(1) 入 学 手 続	6
(2) 入学料及び授業料の減免について	6
(3) 日本学生支援機構奨学金（貸与）	7
(4) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）と学研災付帯賠償責任保険（学研賠）	7
(5) 学生寮入寮希望調書等の請求方法及び受付期間	7

添 付 書 類 等

- ・ (No.1) 編入学志願票
- ・ (No.2) 「振替払込受付証明書(大学提出用)」貼付台紙・写真票・受験票
- ・ (No.3) 編入学願
- ・ (No.4) 払込取扱票
- ・ (No.5) 受験票送付用封筒
- ・ (No.6) あて名票

弘前大学における三つの方針（ポリシー）

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していかうとする行動力
- 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していかうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

■解説：入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学の入学者受入れの方針の「学力」「行動力」「意欲」といったキーワードには、入学時に学生が身に付けておくべき力と卒業時に学生が身に付けておくべき力の2つが含まれています。その理由は、大学教育を効果的に実践し、学生を主体的で能動的な知的探究者として社会に送り出していくためには、学生が入学前に身に付けて来た学力の芽を大きく育て、花開かせることが重要だと考えているからです。

学生が入学時に身に付けておくべき力とは、「学力の3要素」です。学力の3要素は、初等中等教育において身に付けるべき学力です。その内容は、①基礎的な知識・技能、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、となっています。

また、卒業時に学生が身に付けるべき力とは、弘前大学の「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」で掲げている「見通す力」「解決していく力」「学び続ける力」です。詳細は本学ホームページの該当部分を読んでみてください。

「学力」「行動力」「意欲」には、弘前大学の教育目的が内包されているため、「学力」「行動力」「意欲」は「学力の3要素」と完全一致してはおりません。ただし、教育理念の点で、両者は一致しています。よって、弘前大学の入学者選抜では、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

実際の入試の内容や方法は、学部や学科、あるいは入試形態によって異なります。詳細は各学部の入学者受入れの方針、入学者選抜要項・募集要項を確認してください。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は、学生の主体的・能動的な知的探究をとおして、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

(1) 教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。

－見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより、国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

－解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

(2) 専門教育：専門教育は、学生の探究の集大成です。

－見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで、自然や社会への洞察を深化させます。

－解決していく力

学生に、専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も、実践をとおして培います。

(3) 学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

－学び続ける力

卒業後、学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立します。

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は、変化が激しく、将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み、高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身に付けた者に対して学位を授与します。

- － 学際的な教養と高度な専門性を身に付け、学術的観点から自然や社会を見通す力
- － 学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力
- － 常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

*カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は、ホームページでご覧いただけます。 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/policy/policy.html>

令和4年度 農学生命科学部第3年次編入学学生募集要項

1. 募集人員

学 科	履修コース	募集人員
生 物 学 科	基礎生物学, 生態環境 (注1)	若干名
分子生命科学科	生命科学, 応用生命 (注2)	若干名
食料資源学科	食料バイオテクノロジー, 食品科学, 食料生産環境 (注2)	若干名
国際園芸農学科	園芸農学, 食農経済 (注3)	若干名
地域環境工学科	農山村環境 (注4)	若干名
	農業土木〔日本技術者教育認定機構(JABEE)認定〕	募集せず

(注1) 生物学科では、出願の際に履修コースを選択して出願してください。なお、面接の際に希望分野を聴取しますので、「植物環境生理学, 分子細胞遺伝学, 発生生物学, 植物分子生理学, 発生・生殖生物学, 植物細胞生物学, 動物生理学, 分子発生学, 植物生態学, 生態学, 保全生態学, 森林生態学, 進化生態学, 動物生態学」の中から分野を決めて面接に臨んでください。

(注2) 分子生命科学科, 食料資源学科では、3年次編入学後に履修コースを選択するため、出願の際には履修コースを選択する必要はありません。

(注3) 国際園芸農学科では、出願の際に履修コースを選択して出願してください。なお、面接の際に希望分野を聴取しますので、「果樹園芸学, 蔬菜園芸学, 花卉園芸学, 作物学, 畜産学, 農業機械学, 環境バイオマス, 国際食料経済, 国際農業・食料経済, 国際食品マーケティング, 国際農業開発, 国際フードビジネス, 地域農業マネジメント, 農村社会」の中から分野を決めて面接に臨んでください。

(注4) 地域環境工学科では、農業土木コースの募集は行いません。農山村環境コースのみとなります。

※ 履修コース及び分野の詳細については、[農学生命科学部ホームページ](http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/)をご覧ください。
<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/>

2. 編入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は、令和4年4月1日とし、第3年次に編入するものとする。

3. 出願手続

(1) 出願資格

出願できる者は、次のいずれかに該当する者とする。

①大学を卒業した者、又は2年以上在学(見込み)し62単位以上を修得(見込み)した者

②短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者

③専修学校の専門課程(修業年限が2年以上でかつ課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上であること)を修了、又は修了見込みの者

基準を満たす専修学校の専門課程の目安は「専修学校の専門課程のうち専門士の称号が認められた課程」とする。

④高等学校, 中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者又は令和4年3月に修了見込みの者

(2) 出願期間

令和3年7月5日(月)から令和3年7月9日(金)までとする。

持参の場合は、平日午前9時から午後5時までとする。

郵送・持参とも、令和3年7月9日(金)午後5時までに必着のこと。

(3) 出願書類等の提出先

〒036-8560

青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部入試課 電話 0172-39-3122

(4) 出願書類等

出願書類の記入に当たっては、黒ボールペン（ただし、インクが消せるものは不可）を使用し、丁寧に記入してください。

	出 願 書 類	内 容	所定用紙No.
1	編 入 学 志 願 票	別添綴り込みの用紙に必要事項を記入すること。裏面も記入すること。	No.1
2	写 真 票・ 受 験 票	別添綴り込みの用紙に必要事項を記入すること。	No.2
3	「振替払込受付証明書」 貼付台紙	別添綴り込みの用紙に払込済の「振替払込受付証明書(大学提出用)」を貼付したもの。	
4	最終学校の成績証明書	修得単位が明記されたものを厳封のうえ提出すること。卒業見込みの者については、令和4年3月までに単位修得見込みの科目について、評価の欄に○印を付したものを提出すること。 出願資格①該当者のうち、大学に2年以上在学（見込み）し出願時に62単位を未修得の者は、成績証明書のほか、履修状況の分かる書類（62単位以上を修得見込みであることの証明書等）を提出すること。	
5	最終学校の卒業証明書 又は卒業見込み証明書	出身学校所定のもの。 大学出身者（短期大学除く）で2年次以上に在学中の者は在学証明書を、中途退学した者は退学証明書を提出すること。 専修学校の出身者は修了又は修了見込みの専修学校が、修業年限2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が、1,700時間以上であること及び当該専修学校を修了又は修了見込みであることの証明書を提出すること。 高等学校等専攻科の出身者は、高等学校等が発行する修業年限2年以上で、かつ、文部科学省告示第63号又は第64号の基準を満たす課程を修了又は修了見込みであることの証明書を提出すること。	
6	編 入 学 願	別添綴り込みの用紙に必要事項を記入すること。 なお、自書に限る。	No.3
7	入 学 検 定 料	30,000円。入学検定料は別添綴り込みの「払込取扱票」を用いて、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込むこと。	No.4
8	受 験 票 送 付 用 封 筒	別添綴り込みの封筒（小さい方）に、自分の住所、氏名等を明記し、速達郵便料（374円分の切手）を貼付したもの。	No.5
9	あ て 名 票	別添綴り込み用紙2ヶ所に記入すること。	No.6

4. 選考方法等

合格者の選考は、小論文、面接、出願書類（編入学願、成績証明書）を総合して判定する。

- (1) 小論文 各学科の教育研究内容に関連する専門的素養を問う論述試験
- (2) 面 接 各学科の教育研究内容に関連する専門的素養を問う口述試験を含む。
(1人当たり15分程度)
- (3) 試験実施日時及び会場

月 日	時 間	試 験 内 容	試 験 会 場
令和3年8月24日（火）	10：00～11：30	小 論 文	農学生命科学部
	13：00～17：00(※)	面 接	

(※) 試験終了時間は予定より早くなる場合があります。

5. 合格者の発表

合格者の受験番号を次の日時・方法で発表するとともに、合格者に合格通知書等の書類を「あて名票」に記載された住所に郵送します。

電話等での合否に関する問い合わせには一切応じません。

発表日時	発表方法
令和3年9月1日(水) 午前10時(予定)	本学ホームページ (https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/) で発表

6. その他の注意事項

- (1) 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
- (2) 単位認定については、本学農学生命科学部における教養教育科目及び専門教育科目の単位と見なし得るものについては、成績証明書等に基づき、本学部教授会が単位認定を行います。
なお、認定単位が少ない場合には、第3年次に編入しても2年間で卒業できないことがあります。また、外国語については、編入学前に4単位以上修得しておくことを望みます。
- (3) 分子生命科学科及び食料資源学科では指定された科目の単位を取得することにより、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格が得られますが、その単位は編入後に履修・取得したものに限りません。
- (4) 国際園芸農学科では編入学後、教養教育の必修英語6単位の取得が卒業に必要です。
- (5) 障がい等のある入学志願者の事前相談について
病気・負傷や障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする方は、令和3年6月11日(金)までに、あらかじめ入試課へ申し出てください。

弘前大学学務部入試課

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

電話 0172 (39) 3122

7. 個人情報の取扱いについて

出願書類等に記載された、志願者の氏名・住所その他の個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する業務を行うために利用するものとし、その他の目的には利用しない。

8. 農学生命科学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1) 農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では、農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身に付け、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育や、農学および生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力（高等学校の教科全般、特に理科、英語、数学）
- 農学および生命科学をとらして国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- 農学と生命科学に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また、農学生命科学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【生物学科】

- 生物学の遺伝子レベルから生態系レベルにわたるさまざまな基礎的知識や応用的知識を、実社会への参画をみすえ、積極的に身に付けようとする行動力を持つ人
- 生物学に強い興味を持ち、動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象のしくみや生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

【分子生命科学科】

- 分子レベルでの生命現象の理解や知識を活用した産業（例えば、医薬品、食品、化学工業など）および学問分野で活躍しようとする行動力を持つ人
- 生命現象のしくみや機能に興味を持ち、高校で学習した生物や化学の知識を基に分子レベルでこれを理解し、さらに追求する意欲のある人

【食料資源学科】

- バイオテクノロジー、食品科学、作物生産環境について目的意識を持って学ぶことができ、これらの研究を積極的に行うことができる行動力を持つ人
- 学びの中からさまざまな課題を自ら見出し、解決する力を養い、学修後にそれを食料生産や食品産業に役立てようとする意欲のある人

【国際園芸農学科】

- 地域農業の活性化や国際的な展開に取り組む行動力を持つ人
- 農業生産の技術とその原理を学ぶことに意欲のある人
- 食と農の経済を学ぶことに意欲のある人

【地域環境工学科】

- 自立した農業土木技術者として、社会的責任を自覚し、自主的継続的に学修し、多様な人々と協働し、国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- 数学や物理学などの自然科学に関する工学基礎知識を身に付け、水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な工学知識を習得した農業土木技術者を目指し、国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 農学および生命科学の各分野の教育を受けるために必要な基礎学力だけでなく、論理的思考力、読解力、記述能力などの修得が必要です。
- 自分自身の考えを持ち、さまざまな課題に立ち向かい、解決する行動力を身に付けておくことが必要です。
- 実験室のみならずフィールドでの学習・研究活動を自主的かつ積極的に取り組む意欲が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

農学生命科学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、共通テストと個別学力検査により「学力」を評価します。また、志望理由書と調査書により「行動力」、「意欲」を評価します。これらを総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	志望理由書				
	調査書				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、共通テストと小論文により「学力」を評価します。また、志望理由書と調査書により「行動力」、「意欲」を評価します。これらを総合評価して選抜します。	◎	○	○
	小論文				
	志望理由書				
	調査書				
総合型選抜Ⅰ	志望理由書	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	◎	◎
	調査書				
	小論文				
	個人面接				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。また、基礎学力をより適正に判断するため、共通テストの成績を選抜に用います。	○	◎	◎
	志望理由書				
	調査書				
	個人面接				
編入学入試 (第3年次)	小論文	本学部で専門教育を受けるために必要な「学力」、「行動力」、「意欲」を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個人面接				
	編入学願				
	成績証明書				

注) 点数評価・段階評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	一般・後期	農学や生命科学などに関連する、いくつかのテーマについて論述させる。論理的思考力、読解力、記述能力などを有しているかどうかを精査することにより、「学力」を評価する。
	総合Ⅰ	
	編入学	
個人面接	総合Ⅰ	志望理由、興味・関心がある研究分野などについて、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価する。また、面接の過程で、口頭試問を行うことにより、「学力」を評価する。編入学入試では「学力」を重視するため、より専門的な内容の口頭試問を行うことがある。
	総合Ⅱ	
	編入学	
志望理由書	一般・前期	志望理由、将来への展望、自己PRなどについて、これまでの勉学やさまざまな活動をとおして得た経験を基に記入する。本学部に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
調査書	一般・前期	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
編入学願	編入学	本学部に対する理解、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
成績証明書	編入学	教養科目や専門科目の成績を精査することにより、各学科の教育研究内容に関連する「学力」を評価する。

9. 入 学 者 案 内

(1) 入 学 手 続

①入学手続の方法

入学試験に合格した者は、郵送又は持参により、入学手続を行ってください。

期日に手続きを完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

○郵送の場合 … 令和3年10月1日（金）から令和3年10月7日（木）午後5時までに到着するように、必要書類一式を「書留速達」で郵送してください。郵送先は学務部入試課になります。

○持参の場合 … 令和3年10月1日（金）から 令和3年10月7日（木）の平日午前9時から午後5時までに、必要書類一式を学務部入試課まで持参してください。

②入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には、以下のものが必要になります。

詳細は合格通知書送付の際にお知らせします。

I. 合格通知書	合格発表時に送付します。
II. 誓約・保証書	合格通知の際に、本学所定用紙を送付します。 2人分の印鑑（本人と保証人の分）が必要になります。
III. 入 学 料 282,000 円（予定）	合格通知の際に、本学所定の振込用紙を送付します。銀行窓口での納付となります。

※授業料は、年額535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）（予定）になります。納付期限は、前期分5月31日、後期分10月31日です。なお、入学手続時に前期分授業料又は前期・後期分の授業料を一括して納付することもできます。

※入学時までに入学金及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(2) 入 学 料 及 び 授 業 料 の 減 免 に つ い て

日本学生支援機構の給付奨学生の方は、入学金及び令和4年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

本学入学前の在学において、すでに日本学生支援機構の給付奨学生に採用されている方は、本学入学後も引き続き給付奨学生の身分を継続できます。

ただし、条件によっては継続できない場合もありますので、右記の「問い合わせ先」に連絡の上、詳細を確認してください。

なお、本学入学前の在学において日本学生支援機構の給付奨学生でない方であっても、本学入学後に日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申込み、給付奨学生に採用された場合は、入学金及び令和4年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

一連の手続きに関する詳細は、合格者の方に送付する文書に記載しています。

※日本学生支援機構の給付奨学生に申込みするためには、「家計の経済状況に関する要件」、「国籍に関する要件」、「大学等に進学するまでの期間に関する要件」など、いくつかの要件をすべて満たしている必要があります。については、日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申込み方は、本学ホームページの「受験生の方へ」→「入学金・授業料免除の申請」に記載されている関連リンク先を参照の上、「在学採用」の認定要件を満たしているか否かを必ず確認してください。

なお、「大学等に進学するまでの期間に関する要件」もしくは「国籍・在留資格に関する要件」を満たしていないために日本学生支援機構の給付奨学生に申し込めない方であって、かつ、経済的に困難な家庭の学生を対象とした本学独自の支援金給付事業（弘前大学入学金及び授業料相当額支援金給付事業）があります。

選考に際しては、日本学生支援機構の給付奨学生の「家計の経済状況に関する要件」を準用します。

〈重要事項説明〉

日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申込み方及び弘前大学入学金及び授業料相当額支援金給付事業に申請した方は、本学から「授業料等減免認定結果通知書」又は「支援金選考結果通知書」が届くまでは、絶対に、**入学金及び令和4年度前期授業料を支払わないでください。**

本学から送付される「授業料等減免認定結果通知書」又は「支援金選考結果通知書」を受け取る前に、入学金もしくは令和4年度前期授業料を支払ってしまった場合、**入学金及び授業料の減免申請、相当額給付申請は無効となりますので、十分に注意してください。**

(3) 日本学生支援機構奨学金（貸与）※卒業後に返還が必要

学業・人物ともに優秀であって、経済的理由によって修学が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考のうえ、奨学金が貸与されます。

募集期間は、4月上旬から下旬までですが、募集にあたって説明会も予定しています。詳細は入学者案内または掲示で確認してください。

(4) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）と学研災付帯賠償責任保険（学研賠）

大学の教育研究活動中（正課・学校行事・大学が認めた課外活動）及び通学中の不慮の災害事故に対する補償制度です。

全国的規模の互助救済制度のため非常に安価となっています。特に実習・実験・学外研修等に参加する予定の学生は、積極的に加入してください。

また、「学研災付帯学生生活総合保険（付帯学総）」という、学生生活全般に補償範囲を広げた、学生教育研究災害傷害保険（学研災）に上乗せできる保険もあります。

詳細は、入学手続き時に配付される大学のパンフレットを参照してください。

(2)～(4)の問い合わせ先

弘前大学学務部学生課 生活支援グループ

電話：0172-39-3117

時間：平日9：00～17：00

（ただし、令和4年2月24日、25日及び3月11日、12日を除く）

※ 令和4年2月24日、25日、3月11日、12日は一般選抜の準備及び実施のため不在となります。窓口への電話照会ができませんので注意してください。

(5) 学生寮入寮希望調書等の請求方法及び受付期間

学生寮への入寮を希望する場合は、事前に「入寮希望調書」等を提出する必要があります。

以下の方法により必要書類を取り寄せ、期日までに提出してください。

①必要書類の請求方法

○郵送により請求する場合

- ・往信用封筒の表に「入寮案内請求」と朱書きしてください。
- ・往信用封筒の裏に「住所」、「氏名」を記入してください。
- ・返信用封筒（長形3号、返信先住所・宛名記入、切手94円分貼付）を同封してください。

○弘前大学ホームページから取得する場合

- ・所定の様式をダウンロードしてください。

○入寮案内等の発送並びにダウンロード開始は、令和4年1月5日（水）からです。

②資料の請求先

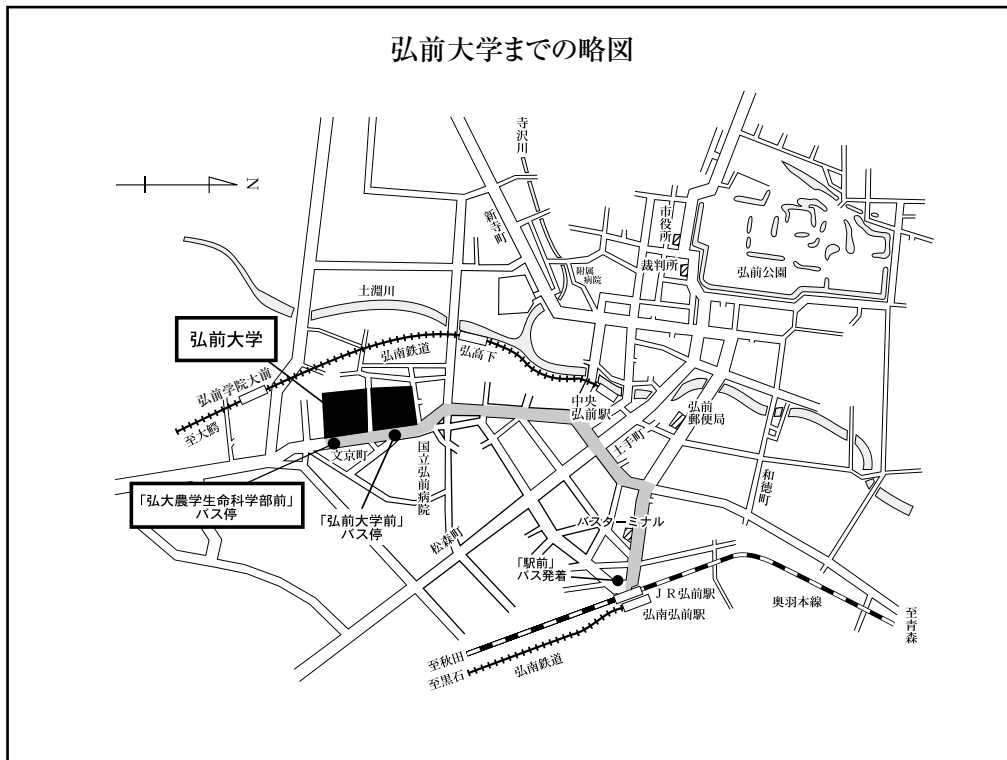
〒036-8560 青森県弘前市文京町1 弘前大学学務部学生課学生支援グループ

電話：0172-39-3107

③入寮希望調書等の受付期間（最終日17時必着）

令和4年2月1日（火）～令和4年2月15日（火）

試験場のご案内



- ① 弘前駅から農学生命科学部まで（徒歩25分）
- ② 弘前駅前バス停より，弘南バスを利用。（小栗山・狼森・自衛隊・学園町線のいずれかを利用し，弘前大学農学生命科学部前下車。）
- ③ タクシーを利用。（駅前より約10分）
- ④ 自家用車ででの来学は固くお断りします。

試験場(農学生命科学部校舎)等の略図

